

January, 2017

56

ふくおか 福岡大学



35	33	31	29	25	23	21	19	17	15	3
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

特集学ぶことは楽しい

充実 CAMPUS LIFE

商学部第二部商学科1年次生

高橋 愛良さん

情熱の証

・茶道部

・モーターボート・水上スキー部

福眼力

福岡大学の学生が博多織カバンを開発

研究室を訪ねて

有岡 律子 経済学部教授

金融機関が直面する諸課題に焦点を当て、

銀行の未来に資する多様な研究成果を福提示

Active Learning! 学びの現場から

スポーツ科学部 専門教育科目

フレッシュマンセミナー I・II

時代を駆ける先輩たち

ゼブラ株式会社 CSR 推進本部 採用・研修室 採用課 課長

小川 真一郎さん (経済学部経済学科 1999年卒業)

就活×モリ

福岡市道路下水道局 建設部 中部下水道課

池田 航基さん

(工学部社会デザイン工学科 2013年卒業)

日本郵便株式会社 伊万里郵便局

下川 真由子さん

(商学部経営学科 2015年卒業)

ヒポクラテスの系譜

福岡大学病院×伊都菜彩

全国から注目されるブランド野菜を用いた

病院食「糸島あじわいメニュー」が好評

寄付者ご芳名一覧

なくま通信

建学の精神

思想堅実・穩健中正
質実剛健・積極進取

教育研究の理念

- 「人材教育」と「人間教育」の共存
- 「学部教育」と「総合教育」の共存
- 「地域性」と「国際性」の共存

学ぶことは楽しい



特集題字揮毫 (日展入選者)

宮田 凌雅 さん
(経済学部経済学科4年次生)

- 改組新第3回(平成28年度) 日本美術展覧会(初入選) ※通称:日展
- 全日本高校・大学生書道展 大賞(第1席) 2回
- 読売書法展 秀逸(入賞) 1回 他 多数受賞

福岡大学学術文化部会 書道部 第56代幹事
東福岡高等学校 書道部出身

福岡大学書道部講師 日展会友
大原 蒼龍

日本最高峰と言われる日展。とりわけ書の部門は激戦を極める。入選率11.9%。初入選の平均年齢55.6歳。私を知る限り九州の現役学生での入選は初めてである。出品を尻込みする大人も多い中、宮田君の快挙を喜びたい。

特集: 学ぶことは楽しい

WHAT'S "YOUR" STUDY



「戦争の記憶」を テーマとした歴史研究

人文学部

幅広い教養や語学力で
人間力を高める



森 丈夫 教授

フィールドワークやグループ討論を積極的に取り入れています。自分たちで見て、聞いて、感じ、他人の意見に触れることで、視野が広がり、歴史に対する理解が深まります。考える癖が付き、思考の幅も広がります。物事を多面的に捉える力が付くと、歴史はもっと面白くなるのです。

世の中に残るさまざまな戦争の記憶をたどり、幅広い視野で歴史を捉える。それがこのゼミの大きなテーマです。私たちは、第二次世界大戦の記憶のされ方を知るために大分県の宇佐市平和資料館を見学しました。もともと宇佐市は特攻隊の中継基地があり、多くの若者が南の空へと飛び立った場所。館内では実物大の零戦模型や特攻隊員の遺書、戦争遺跡の解説資料などが展示されており、私たちは歴史を伝える品々を目の当たりにし、戦争の悲惨さを肌で感じました。こうしたフィールドワークをヒントに、今は各々が自ら考えた切り口で戦争の記憶について調査、考察、レポート化し、発表する課題に取り組んでいます。私は地方の博物館や資料館の展示方法、展示内容の違いに着目し、友人と2人で協力しながら情報収集している最中です。どんな結論にたどり着けるか楽しみです。日々歴史の知識が深まっている手応えを感じています。

戦争の記憶について 調査・考察・発表

STUDENT'S DATA

人文学部歴史学科
1年次生
尾崎 穂郁 さん



大分県の宇佐市平和資料館に
展示されている実物大の零戦模型

特集

WHAT'S “YOUR” STUDY?

学ぶことは楽しい



STUDY

私たちが学んでいるのは **これ** です

9学部31学科を誇る福岡大学で、
文化、歴史、言語、法律、経済、商業、
経営、地球、物理、環境、化学、建築、
機械、医療、看護、薬剤、スポーツ、健康…など
私たちはそれぞれの分野で学業や研究に励んでいます。

学ぶことは楽しい。

私たちが学んでいることをご紹介します。



LET'S CHECK THEM OUT



MAIN THEME OF STUDY

アジアの社会経済と文化の研究



経済学部
社会の進歩と繁栄に
貢献する経済人へ

STUDENT'S DATA

経済学部経済学科
2年次生
笹山 大晃 さん



市場調査を実践し 多様なデータを収集

安倍政権が進めている「クールジャパン政策」に着目し、国内やアジアの市場にどう影響し、どんな変化を与えているのかを研究しています。私たちの研究の基本は、調査と考察。例えば、日本のアニメや漫画、小説や音楽がどの国で好まれ、その国の人々はどうな商品を買っているのかを調べました。すると圧倒的なアニメ人気の高さが分かり、そこからさらに輸入と輸出の関係、観光や国内雇用への影響なども調べ、多種多様なデータを収集しています。現在はスポーツや食などを含め、日本らしい文化を広く「クールジャパン」と捉える考え方に変わってきているため、2020年の東京五輪に向けての社会的影響なども調べています。蓄積した膨大な情報を分析・考察することで、日本経済の発展に貢献できる傾向や理論が見つかるかも知れません。2月には韓国での市場調査を実施する予定です。リアルな声を聞き、新しい発見が得られたらと期待しています。



東京の警視庁での西澤ゼミのメンバー

STUDENT'S DATA

法学部法律学科
西澤ゼミ1年次生
藤松 祐輔 さん



中央省庁や東京大学で 官僚や学者と議論

法学部の「基礎ゼミ」は、1年次に法学学習の基盤となる法律の読み方や文書の書き方を集中的に学ぶゼミで、「西澤ゼミ（公法・行政学）」と「東原ゼミ（政治学）」の2つがありますが、いずれも大変人気があります。わたくしの所属する西澤ゼミでは、内閣府のキャリア官僚でもある先生の指導の下、夏休みの東京研修で内閣府、総務省、警視庁、東京大学等で政策立案を担っている官僚や政策に強い影響力を持つ学者等に対してインタビュー調査を実施しました。一流の官僚や学者の方々と共に議論することによって、ゼミ生全体の法的思考力や政策分析能力が強化されました。また、先生とゼミ生が共同で政策分析を行い、論文をまとめました。普段のゼミの学習内容も高度で、実際に憲法や行政学の公務員試験の過去問が解けるようになります。ゼミでの経験を踏まえ、ゼミ生のお大半が、公務員、法曹、大企業、マスコミ等を志望するようになり、既に試験や就職のための準備に入っています。



法学部
法的思考力や
公平な判断能力を養う

MAIN THEME OF STUDY

法律や行政への理解を深める学び



姜 文源 教授

アニメや音楽など、学生たちには身近な題材を用いながら経済学を楽しく学び、理解を深めてもらいたいと考えています。文化面や社会面など、多彩な角度から経済を考えることで、幅広い視点や複合的に物事を捉える思考力が養えます。海外市場の調査を通して、異文化コミュニケーションの重要性にも気付くはず。



調べた事柄は各自でレポートにまとめて発表し、その内容を議論し合う

西澤 雅道 准教授 (内閣府大臣官房付)

福岡大学では、学力があるにもかかわらず、公務員試験や司法試験のような全国規模の競争に乗り遅れる場合があるように思います。そこで、本ゼミでは、1年生のときから実学的な法律教育を行い、公務員、法曹、マスコミ、大企業等公共性の高い仕事に就くことを希望する人が多くなっています。なお、わたくしは今年度赴任したばかりですが、4年生のゼミ生は、既に公務員試験や九州大学大学院に合格しています。

東原 正明 准教授

私のゼミを履修する学生は法曹や公務員など、公の仕事を目指す学生がほとんどです。だからこそ、東京研修や座学を通して行政や政党、NPO法人などの仕事を学び、それぞれの立場で物事を捉える視点を養ってほしいと考えています。視野が広がれば将来の選択肢が増え、自分が進むべき道が見えてくるはず。



東京研修で国会議事堂を訪問。立法府の空気を感じる貴重な機会に (東原ゼミ)

MAIN THEME OF STUDY

天神ロフトの管理会計実践の研究



昼間の学部と同様の学びと成長がある



篠原 巨司馬 准教授

企業での実地調査を通して、教科書で説明されている管理会計の理論が現実にはどのように使われているのかを検討し、理論を発展させることを目指しています。学生たちには実地調査を通して、教科書の理論を批判的に捉える力、現実に起きていることを捉える力、人の思考や行動を他者に伝えられるよう言語化する力などを養ってほしいと考えています。

**マネジメントの
有効性を実地調査**

管理会計の目的は、売上やコストなどの多様な会計情報を経営者の意思決定や従業員の動機付けに役立てることです。私たちは商学部と産学連携協定を結んでいる天神ロフトの協力の下、座学を通して学んだ管理会計の理論や方法論が、実際の現場でどう運用されているのかを実地調査しました。まず、天神ロフトの館長に座学から導き出した質問を投げ掛け、理念や戦略に対する館長の理解とそれを社員に取り組んでもらうために使われている予算の仕組みなどを把握しました。次に売り場マネジャーの方々に、売り場での工夫や心掛をヒアリングしました。すると、「時代の半歩先を行く商品の提供」という館長の理念に対する理解が浸透していることや、売上を重視する考え方、それらを可能にするために個別の商品管理による棚の回転率アップの仕組みが用いられていることが明らかになりました。現在はそれらのデータを、天神ロフトのマネジメントを体系的に示すために分析しています。



ヒアリング調査を実施し、天神ロフトの理念や戦略を把握

STUDENT'S DATA

商学部第二部商学科
3年次生
時枝 潤 さん



これまで延べ約900人の大学生が4,000人以上の小中高生を指導

STUDENT'S DATA

商学部貿易学科
4年次生
野田 崇介 さん



なぜを問い続け 自らの志に導く

「書く力をきたえるプログラム」(通称「書くP」)は、2008年に始まり、学生が福岡市内の小中高生に作文の仕方を教えることで自らの成長につながる取り組みです。私は2013年から参加し、主に中学生を担当してきました。福岡市の中学校では2年生を対象に、自分の志を見つけて作文で、発表する立派な実施しています。そのサポートが「書くP」の活動の中心です。毎回、生徒たちが自分の志に気付けるよう、試行錯誤しながら多様なワークを考え、実践。これまで「旅をテーマに絵を描く」「20年後の福岡の街を考えてみよう」といったテーマでワークを行いました。表現されたものには、必ず各生徒の「らしさ」があります。重要なのは、なぜそう考えたのかを問い続けること。すると、無意識に大事にしている志に辿り着けるのです。「書くP」を通じて私自身も何事に対しても自分の答えを持ち、行動できるようになりました。

MAIN THEME OF STUDY

教えることを通じて 学ぶプログラムを実践



実践的な商学を学び、
ビジネスリーダーへ



田村 馨 教授

「何を書いていいかわからない」「調べます」が決まり文句の学生の成長を促すことを目的に「書くP」はスタートしました。学生たちは生徒や児童に何をどう教え、進めるかを自分たちで構想・計画し、実践します。こうした活動を通して、答えは自分の中にあることに気づき、自ら考えて行動できる人材になってほしいと考えています。

MAIN THEME OF STUDY

景観や公共空間の デザインと街づくり



STUDENT'S DATA

工学部社会デザイン工学科
4年次生
吉田 奈緒子 さん



市民に愛される 快適な街づくり

私たちは大分県の国道197号線の改修プロジェクトに携わり、社会デザインのプロの仕事をしていきます。担当の柴田先生の指導の下、改修のコンセプトづくりから参加。まずは何を残して、何をどう新しくすべきかを見極める必要があります。そこで私が注力するのがこの国道の歴史調査。県の記録や図書館の文献などで、どの時代にどんな意図で整備されたのかを調べ、資料としてまとめていきました。県庁や企業の方が参加する会議で使用される書類の作成は非常に責任ある仕事でしたが貴重な経験になりました。また、完成予想の模型づくりも私たちの重要な役目でした。これを使って実際の景観デザインが行われることから、ベンチの大きさや街灯の高さなど、原寸をイメージしながら精密に仕上げるよう心がけました。竣工はまだ先ですが歴史情緒と利便性を融合した市民に愛されるものになるよう皆で力を合わせて挑戦し続けます。

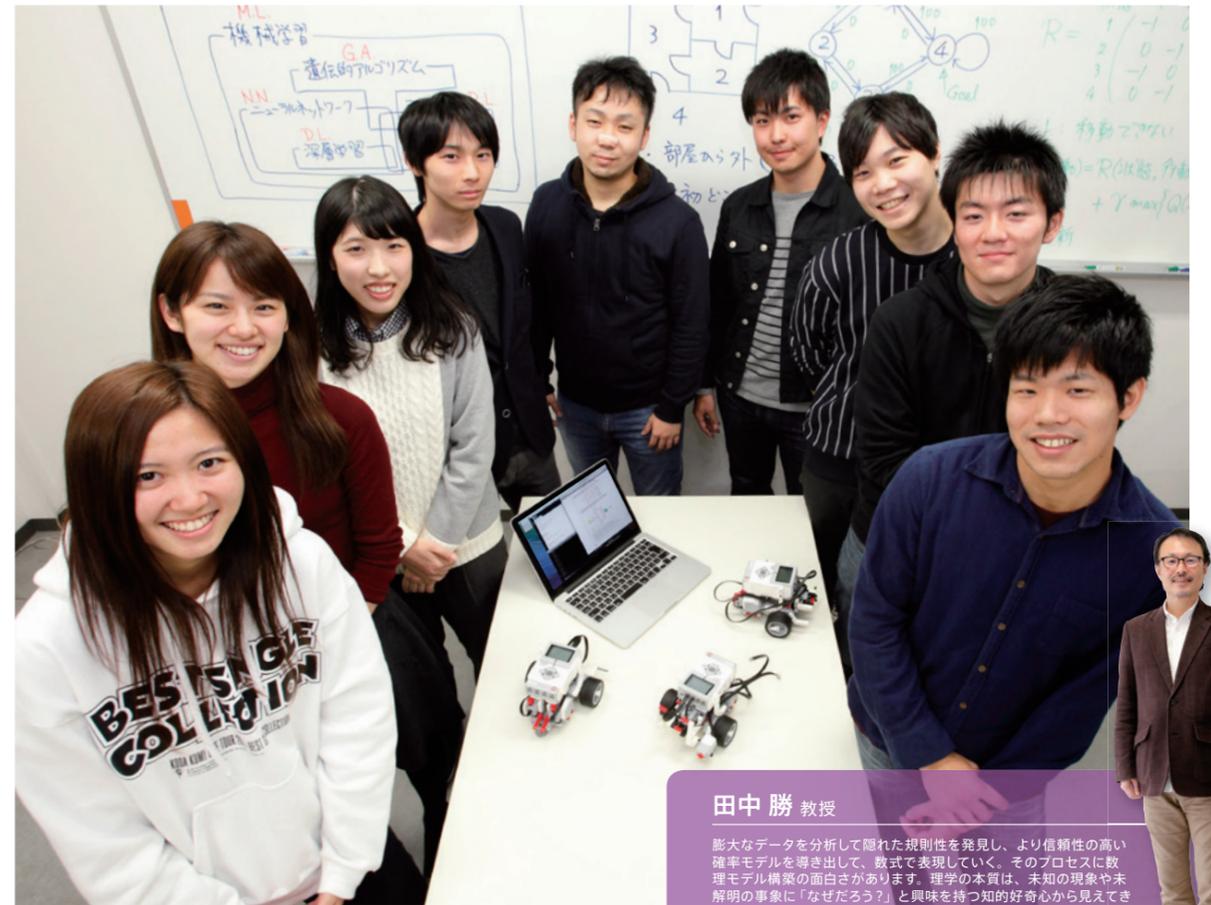


柴田 久 教授

徹底した現場・実践主義が私の研究室の特徴です。大学での学びが社会でどう生かされ、実際の仕事の中で自分たちがどういう役割を担わないといけないのか。それを肌で感じることで、学生は大きく成長していきます。学生たちには多くの体験を通して、プロに欠かせない柔軟性や対応力を養ってもらいたいと考えています。



完成予想の模型を見ながら市民目線でより良いデザインを検討する



田中 勝 教授

膨大なデータを分析して隠れた規則性を発見し、より信頼性の高い確率モデルを導き出して、数式で表現していく。そのプロセスに数理モデル構築の面白さがあります。理学の本質は、未知の現象や未解明の事象に「なぜだろう?」と興味を持つ知的好奇心から見えてきます。学生の皆さんにも、自然界の原理原則に触れる知的興奮をぜひ味わってもらいたいです。



STUDENT'S DATA

理学部
社会数理・情報インスティテュート
3年次生
田代 光希 さん



ゴールへの経路を 自学自習する ロボット

社会で起こっているさまざまな現象の原理や規則性を、膨大なデータ解析を重ねて数式で表現する。こうした「数理モデル」の構築の基礎を学ぶために、自動車型のプログラミングロボットを用いた強化学習に取り組んでいます。強化学習とは、コンピュータが自らデータ解析を行い、正解を見いだしていく人工知能の手法です。現在は、プログラムを組み込んだロボットを迷路に置き、距離や速度などの各種センサー情報を基に、ゴールへの最適経路を自学自習しやすくする初期値の設定に向けてシミュレーションを行っている段階です。まもなく6台のロボットを使った実証実験に入りますが、ロボットはあくまでデータ収集の手段。スリップや衝突など予測できない事態への対処を重ねながら、データをどう解析し、ゴールへの経路をどう導き出すか。そのプロセスを見極めることに、この研究の主眼があります。



プレゼンテーションで相互理解を深める

MAIN THEME OF STUDY

数理モデルの構築



MAIN THEME OF STUDY

療養者の生活行動の 援助を实践



中嶋 恵美子 教授

「生活看護技術」は、看護者として人に援助することを学ぶ最初の科目です。講義で学んだ理論知と、視覚教材や教員が示すモデル、そして学生の反復練習によって、技を技として身体化する学習活動です。看護学は実践の科学。机上の学習に加え、「看護」を自分で体験できるような技術を磨く習慣を早い段階で身に付けてもらいたいと思っています。

入院中の患者さんや在宅療養中の方など、自力での日常生活行動が困難な療養者に対する援助を、講義と演習を通して学んでいます。演習では学生自身が看護者と患者さんの役になり、病床での体位変換や寝衣交換、清拭や食事介助などの看護技術を実体験。講義で学んだ理論を体得すると同時に、温度、湿度といった療養環境への留意や患者さんへの声掛けなど、科学的根拠に基づいた個別の配慮を実践的に学びます。演習中は「声を掛ける時の表情が固かった」など、ペアを組んだ仲間とお互いにアドバイスを。演習後も空き時間に実習室で反復練習を重ね、授業で学んだことや演習中に気付いたことをまとめてポートフォリオを作成し、学びを深めています。「生活看護技術」は諸々の看護技術の基礎。しっかり身に付けられるよう、日々仲間たちと努力を続けています。

STUDENT'S DATA

医学部看護学科
1年次生
三宅 有紗さん



演習では学生が二人一組で看護技術を实践

STUDENT'S DATA

医学部医学科
2学年
藤本 博樹さん



患者さんの立場で 考え、行動する

実際に脈拍や血圧を計る。人型の医療用シミュレーターに聴診器を当てて心音を聴く。学生同士で模擬診察を行う。さまざまな臨床体験を通して、私たちは医師に必要なスキルを基礎から学んでいます。座学で学んだ知識を実践することで、初めて理解できたり気付いたりすることがあると感じています。例えば、打診で大切なのはしっかり音を出すこと。音が出る力加減が徐々に分かって、音の違いも分かるようになります。触診ではブライバシーへの配慮の重要性、医療面接では患者さんが症状を自由に話せるよう寄り添う姿勢の大切さなどについて学びます。これらの様子はビデオで撮影し、後で観ます。顔の表情から座り方、体の動きに至るまで各自で細かくチェックし、医師として患者さんの立場に立って適切に行動できているかを振り返ります。実践を踏まえ、た科目を通して、医師になるステップを一つずつ実感しています。



グループで模範のビデオ映像を確認しながら、腹部の診察をロールプレイ

MAIN THEME OF STUDY

実践型教育で医療人としての 技能や姿勢を養う



安元 佐和 教授 (最右)

2学年という早い段階で医療人としての技術やコミュニケーション力をはじめ、人間性や生涯にわたって学習する姿勢、プロフェッショナリズムを養うこと。それがこの学びの目的です。国家試験に合格するのはもちろん、多様化する社会のニーズに応えられる臨床医になるための複合的な学びを提供しています。



インステップキックの動作分析を行うため、「VICON」(バイコン)というモーションキャプチャーシステムで被写体を撮影

STUDENT'S DATA

スポーツ健康科学研究科
博士課程前期1年次生
福嶋 洋さん



映像解析で運動のメカニズムを解明

どうすれば速く走れるのか。どう動けばより高く跳べたり、ボールを遠くへ飛ばしたりできるのか。さまざまな答えを求め、私たちは身体の動きを力学的に分析し、優れた運動メカニズムの解明に取り組んでいます。専門的にはスポーツバイオメカニクスという研究分野です。まずは、実験でのデータ収集。例えば、より良いボールの蹴り方を探るときには、モーションキャプチャーシステムなどの専門機器で、蹴る動作を行う人物を撮影します。それを専門ソフトで映像解析し、蹴る速度や角度、ボールにかかる力など多くの情報を数値化。そのデータを分析・考察し、効率的な蹴り方を導き出すのです。最終的な研究の目標は、英語での論文作成と発表、スポーツ指導の現場での活用です。数値化した情報は、個人の主観や感覚を頼りにした指導法の裏付け(エビデンス)となります。このような科学的根拠に基づいた指導は、運動技術の向上やけがの軽減に役立つはずです。

MAIN THEME OF STUDY

優れたスポーツ動作の力学から読み解く

スポーツ科学部



スポーツと健康について、実践と科学を学ぶ



布目 寛幸 教授

多くの学問と同様、スポーツ科学(スポーツバイオメカニクス)においてもグローバルスタンダードが求められています。私の研究室ではスポーツの力学解析の成果を英語で説明することを求め、その指導も行っています。将来、研究者になるにしても、スポーツの指導者になるにしても、スポーツバイオメカニクスを英語で語る力があれば、間違いなく活躍の場が格段に広がるでしょう。



MAIN THEME OF STUDY

高次脳機能の解明

薬学部

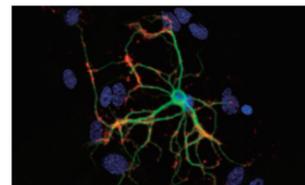


信頼と尊敬を得られる研究者や薬剤師へ



桂林 秀太郎 准教授

仮説を立て、結果を確認し、次の方法を考える。研究はその繰り返しだからこそ、失敗が付きもの。しかし、粘り強く原因を追究し、多面的に考えることで幅広い視野や問題解決力が養われています。社会で遭遇するさまざまな壁を乗り越えるための複合的な力を身に付けてもらいたい。学生たちの成長こそが研究室の狙いです。



美しくカラフルに染色された脳細胞の実験画像

未知なる脳細胞の不思議に迫る

イメージ画で頭部が大きく描かれる宇宙人は果たして頭がいいのか。そんな素朴な疑問から私たちの研究は始まりました。具体的には人間の脳の重要な構成要素であるグリア細胞と情報伝達などの神経活動に関わるシナプスという部位。そして記憶や思考をつかさどる高次脳機能との関係性を探っています。それらについては科学的に全容解明にまだ至ってないのです。実験では試験用の脳細胞を培養し、グリア細胞を増やしたり減らしたりするなど、さまざまな条件を試しながらシナプスの数や大きさ、形などの変化をレーザー顕微鏡で観察し、多様なデータを収集しています。それを分析し続け、新たな発見や答えにたどり着ければと考えています。近年はiPS細胞など、薬の代わりに細胞で病気を治そうとする研究が進み、実用化も夢ではありません。将来、私たちの研究成果がアルツハイマー病など脳の治療の一助になることを願って日夜研究を続けています。

STUDENT'S DATA

薬学部薬学科
6年次生
武田 琴水さん



Timeline

高橋さんの 自分年表

1 「応用情報技術者試験」に合格
将来の糧になると考え、受験することを決断。テクノロジー、ストラテジ、マネジメントといった分野の出題範囲を独学で猛勉強し、難関を突破。2015年、高校生で合格したのは福岡県内でわずか3人だった。

2 福岡大学商学部第二部商学科に入学
高校1年生の時から働きながら大学で学ぼうと決めていた。IT系の知識を深めながら、経営や流通、会計など幅広い分野が学べる本学科へ。

「学内ワークスタディ制度」を知り参加を決意、応募
初年度の応募者は約30人。その中から学業成績の基準を満たした学生のみが採用される。1年次生は入試の成績で選考。無事に条件をクリアし、第1期生6人のうちの1人に選ばれた。

ここがターニングポイント!

3 商学部事務室に所属し、2号館にある共同研究室で勤務

職場の上司や先輩の指導を受けながら仕事をし、社会で働く心構えを学ぶ。本制度をきっかけに商学部の藤野准教授をはじめとする多くの先生方と交流が深まる。



共同研究室で藤野准教授と

高橋さんのモットー



「2年次から、教職課程やより本格的に専門科目が始まるので、さまざまな知識を吸収して視野を広げたい。生徒にとって頼りになる教員になれるよう幅広い科目を履修しようと考えています」と意欲を見せる高橋さん。充実したキャンパスライフは、まだ始まったばかりです。

高橋さんの「充実 CAMPUS LIFE」POINT

昼は大学内で働き、夜は余裕を持って授業を受けられる安心感
学内ワークスタディ制度

2016年度から始まった、働きながら学びたい学生を支援する福岡大学の新しい制度。応募者の中から選考された学生たちは、昼は週35時間を上限として福岡大学で大学事務スタッフとして勤務し、夕方からは商学部第二部の授業を受けます。「学業優先で働き、一般的なアルバイトよりも業務負担が少なく体力的にも精神的にも余裕があるので、勉強がおろそかにならないのが魅力です。福利厚生がしっかりしていて、社会保険や有給休暇が保障されている点もポイントです」と高橋さん。



★お気に入りのスポット

イングリッシュガーデン

バラが美しく静かで落ち着いたので、ベンチでよく音楽を聴いたりしています。

★大学生活を色で例えると?

「白」
自主性を持って計画的に将来設計すればどんな未来も描けます。まさに白は、何色にも染められる色。可能性をどう広げるかは、自分次第ですから。



★好きな授業

「情報表現技術」

パソコンや基本ソフトの操作実習をはじめ、公文書の書式や論文作成のマネーなど、情報の適切な伝え方を学びました。ウェブサイトの作成や、デザインの基礎も学びます。

高橋 愛良 さん
商学部第二部商学科
1年次生
Aina TAKAHASHI



充実 CAMPUS LIFE

働きながら学べる

「学内ワークスタディ制度」で

目指す夢は商業科の教員

自分の道は自分で切り開く!

「学内ワークスタディ制度」の第1期生として、昼は商学部事務室の事務スタッフとして働き、夜は商学部第二部商学科で学ぶ高橋愛良さん。勉強と仕事を両立させ、多くの刺激を受ける中で、「IT系の知識を学びたい。幅広い分野を学んで視野を広げたい」と意欲を燃やしています。

事例を使って理論を解き明かす学び方が刺激に

「高校で学んだIT系の知識を深めつつ、新しい分野の勉強にも取り組みたい」。そう語る高橋さんは、商学部第二部商学科の1年次生。高校生の時には、IT技術者としての知識や技能の習得度合いを認定する国家資格「応用情報技術者試験」を自主的に受験。一般的には大卒レベルの人が受ける難関試験ながら、独学で見事に合格を勝ち取りました。この結果が評価されて商業校長会推薦を獲得し、福岡大学へ入学後、特に刺激となった授業は「経営入門」。例えば、生活用品の製造・販売を行う大手企業の社長を取り上げた新聞記事を用いて、企業経営術を

学んだのが非常に興味深かったそうです。「具体的な事例を使いながら理論を解き明かす学び方は高校時代にはなく、とても新鮮でした」と高橋さん。続けて「その社長は東日本大震災時、迅速に被災地への商品供給を決定しました。自社の利益より社会貢献を優先したのです。人望で社員を牽引するリーダーシップの発揮の仕方に感銘を受けました」と目を輝かせます。

ンキャンパスで、商学部第二部の学生を対象とした「学内ワークスタディ制度」の存在を知りました。これは、昼は大学内でアルバイトの事務スタッフとして働き、夕方からは第二部で学ぶという2016年度から始まった制度。高橋さんは迷わず応募し、選考の結果第1期生として合格しました。「当初は飲食店などのアルバイトを考えていましたが、大学という信頼できる環境で働ける安心感に引かれました」と応募の動機を説明します。

仕事をしながら集中して勉強ができる魅力的な環境
「大学の学費は自分で」と高橋さんは高校1年生の頃から夜間大学への進学を決めていました。そのような中、高校3年生の時に訪れた本学のオープ

高橋さんの配属先は、商学部事務室。朝8時50分から夕方まで2号館にある共同研究室で勤務し、各教室の備品管理の他、パソコンでのデータ入力や講義資料の作成補助、研究補助な

情熱の証 *One Person, One Circle*

学びを軸にサークル活動にも熱く燃え、一生の思い出を仲間を。



モーターボート・水上スキー部

男女とも全国制覇へ、水上を颯爽と舞う

年間行事

- 5月 ゴールデンウィーク合宿
チャンピオンシリーズ第1戦
- 6月 チャンピオンシリーズ第2戦
- 8月 全日本水上スキー選手権
- 9月 全日本学生水上スキー
選手権
- 10月 全日本学生水上スキー
新人戦ウエストジャパン
オープン
- 11月 滑り納め

部の挑戦はこれからも続きます。



風を受けながらダイナミックに水面を疾走している時は爽快そのもの

水しぶきを上げながら華麗に滑る水上スキー。種目はツイを回ってタイムを競う「スラローム」、飛距離を競う「ジャンプ」、多彩な技でポイントを競う「トリック」の3つ。シーズン中の毎週末、部員たちは大分県の水上スキー施設で練習に励みます。福岡大学のモーターボート・水上スキー部は、これまで全国優勝4回を誇る強豪チーム。指導するのは初優勝時の主将を務めた中村大吾監督と、同じくOBで「ジャンプ」の現・日本記録保持者の山本雄一コーチです。主将の宮前陽さんは、「先輩たちが築いた栄光と伝統を守るためにも、常に優勝が目標」と話します。幹事の谷口孔基さんは、「優れた指導者の下で練習できるのがが部の強み」と胸を張ります。「水上スキーの魅力は大自然と一体となって滑る圧倒的な爽快感」と語る宮前さんは、「入部時はほぼ全員が未経験者ですが、初めて滑った時の感動を忘れず、楽しく集中して練習することが上達のコツ」と説明します。こうした日頃の努力が実り、2016年度の全日本学生選手権では、女子部員の東久保百愛さんが個人総合優勝に輝きました。男女共に次回大会の団体優勝を目指して、モーターボート・水上スキー部の挑戦はこれからも続きます。

茶道部

美しい所作で、伝統のお点前を披露

年間行事

- 4月 新入生歓迎コンパ
- 6月 学術文化祭参加茶会
- 8月 夏季キャンプ
- 11月 七隈祭参加茶会
- 2月 新春恒例茶会(最大行事)
追い出しコンパ
- 3月 春季合宿

学術文化祭の2階にある日本間道場が茶道部の稽古場。週3回の稽古日、およそ20畳の和室は奥深い抹茶の香りに包まれます。年3回のお茶会に向けて裏千家の師範に指導を受ける土曜日は、特に身を入れて稽古に励んでいるとのこと。幹事の美戸彩さんは、「お茶の点て方はもちろん、茶室への入り方から歩き方、座り方、多様な茶器の扱い方まで、美しい所作やお茶の作法を、一つ一つ会得できるように努めています」と話します。普段から炭を使った昔ながらの本格的なお点前を稽古できるのが福大茶道部の伝統。部員たちが大切にしているのはおもてなしの精神。副幹事の平田理菜さんは、「技術の上達だけでなく、お客さまに心からお茶を楽しんでいただくことをモットーに活動しています」と説明します。床の間を飾る生花



花は学生が生けたもの。掛け軸は書道部の作品

福岡大学の学生が

博多織カバンを開発

福岡大学、筑前織物、吉田カバンがコラボ

「結と織バッグ」「恋する博多Obi」の二種類を発売

「かつて黒田藩士も愛用した博多織。

その優美さと丈夫さを現代の生活シーンに生かせないか」。

ふとした発想から始まった商学部学生によるプロジェクト。

伝統の博多織を継承する「筑前織物」や、

人気カバンメーカーである「吉田カバン」の協力により

1年半の歳月を掛けて今、完成を迎える。

博多の歴史や伝統に、

新たな発想や感性が見事に合わさったオリジナルカバン。

学生たちが練り上げたアイデアは50以上にも及ぶ。

その中から選び抜かれた、2つの逸品。

この春、いよいよ世に出る。

恋する博多Obi

白い帆布と、青地のデニム。カジュアルな生地を、梅模様博多織の水引できりりと引き締めたクラッチバッグ。デートやパーティなど、特別な日の女性を応援する“勝負カバン”。学生たちが考案したキャッチフリーズは「この恋を結ぶのはあなた」



商品詳細
縦 26センチ×横 35センチ×幅 5センチ、色:バッグ本体 帆布(クリーム)×博多織(ピンク)、バッグ本体 デニム(ブルー)×博多織(ネイビー) 2色展開



商品詳細
高さ 40センチ×横 33センチ×幅 13センチ、色:バッグ本体(黒)×博多織(白・赤・青)3色展開

結と織バッグ

「ゆとり世代」が考えた大容量の箱型リュック。キャッチフリーズは「いつもと同じようでどこか違う」。博多織ストラップにあしらわれた“とんび”が、上昇気流に乗るかのような若い大人世代のアクティブな日常をサポート。



博多織カバンプロジェクト
本プロジェクトは、自ら考え新しいことに挑戦するアントレプレナーシップ(企業家精神)を持つ人材を育成しようとする福岡大学商学部の多彩な取り組みの一環として、2015年6月に始まった。プロジェクトに参画した学生は21人(商学部・商学部第二部)。二宮麻里准教授の指導の下、筑前織物株式会社と株式会社吉田の協力を得て、商品コンセプトの策定からプロモーションに至る商品開発・販売の全プロセスを学生たちが実践する。開発商品は2017年1月から特設ウェブサイトで先行予約販売を行い、3月から一般発売する予定。

HP QRコード
Twitter アカウント: 恋するゆとり ユーザーネーム: @kouisuruyutori
Instagram アカウント: 恋するゆとり ユーザーネーム: koisuru_yutori

3月から一般発売

2017年1月ウェブサイトでの先行予約販売を経て、



2016年12月製品発表会
完成品のお披露目。プロジェクトの経緯や今後のプロモーション企画等について学生、大学関係者、報道機関を前にプレゼンテーション。



2016年11月工場見学
福統織物株式会社(筑前織物製織部門)の工場で、バッグに使用するオリジナルの博多織を織る様子を見学。



2016年9月オリジナル博多文様
リュックには、高く飛躍できるようにと意味を込め、本学の最寄り駅のロゴマークにもなるほど縁のある「トنب格子柄」を。クラッチバッグには、「固く結ばれてほしくない」水引の結び方「梅結び」をモチーフに。



2016年8月プレゼンテーション
株式会社吉田・取締役である桑畑晃氏を迎え、学生たちが出した50のアイデアの中から「リュック」と「クラッチバッグ」の2つの案に絞られた。



2015年6月プロジェクト発足
学生たちが初めて出合った博多織。一番身近で毎日身に付けてもらえるものは何かと考え、「カバン」をテーマに、筑前織物株式会社と株式会社吉田とのコラボ企画が動き出す。福岡大学卒業生である株式会社BBDO J WESTコンテンツ開発局局長上野達生氏がコーディネート。



銀行勤務で体験した融資案件の審査、大学院生活、自治体や地域にオファーをいただいた研究会や委員会等、あらゆる経験が、先生の研究の血となり肉となっている

研究室を訪ねて

教授陣の卓越した研究を知り
個性的な人柄にも触れる—
「知」との貴重な出会いのページ

経済活動を支える銀行の発展に寄与する研究 金融機関が直面する諸課題に焦点を当て、 銀行の未来に資する多様な研究成果を提示



経済学部
有岡 律子
教授

研究テーマ
● 経営環境の変化と地域銀行の対応策に関する研究
● 国際会計基準が企業の事業戦略に及ぼす影響についての考察

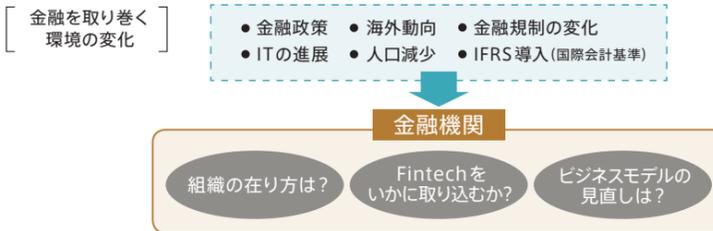


先生のご著書、『バブルと金融政策』（共著）は、大学院生時代に行った日銀関係者へのインタビューに基づく。『セヴィングキャピタリズム』は訳書、『テキスト金融論』（共著）は経済学部の専門科目「金融市場論」の授業で使用

キーワードは「銀行」 多様な分野に広がる研究領域

金融ビッグバン以降、加速する金融自由化やグローバル化を背景に、銀行を取り巻く環境は年々変化しています。新しい会計制度や金融政策の導入、規制の変化、ITの著しい進展などのなか、銀行業界では、他業種からの新規参入や合併・再編などの動きがみられます。「変化にどう対応するか。メガバンクから地域密着の信用金庫に至るまで、全ての金融機関が明確な回答を迫られています」。そう話す有岡先生は、長年にわたって銀行に焦点を当て、銀行が直面する諸課題を中心とした研究を重ねています。近年、学会発表や論文を通じて世に問うている、IFRS（国際会計基準）導入が銀行や企業に及ぼす影響についての考察もその一例。その他、銀行と企業、あるいは規制主体である政府との関係など、研究テーマは多岐にわたります。

金融や会計に関する知見を広げ、研究と教育の場を求めて2001年、福岡大学に赴任しました。2015年12月からは、研究と教育に加え、福岡大学図書館長という新たな職務も任めています。



IT活用策、銀行再編の方向性 日々刻々と広がる研究テーマ

日常心掛けていることを尋ねると「失敗を恐れずチャレンジし、常にポジティブ思考でいること」と、明快な答えが返ってきました。「その姿勢と併せて、ゼミの学生に折に触れて説いているのは、調べる前に考える習慣を身に付けること。例えば自動車メーカーの経営分析をする場合、まずは頭の中で財務状況や経営課題を想像し、自分なりのストーリーを考えてから実情を調べるように、と。また、現実社会の課題には、正解があるとは限りません。時には課題の設定から始めることもあります。それらに向き合う際、大学で磨いた考えの姿勢が役立つでしょう」。

「ビットコインに代表される仮想通貨への対応をどう考えるか?」「ビッグデータを人工知能で解析して投資指南に生かす方策は?」等々、銀行は今、IT技術の進化をどう取り込むかという新たな課題に直面しています。お金は社会の「血液」、銀行は資金の供給を通じて経済活動を支える、いわば社会の「心臓」。日々刻々と進化する銀行の研究をライフワークとする先生に、あらためて目標をうかがいました。「研究者の使命は、研究を通じて新たな知見と視点を提示することです。今後もITの活用策や

業界再編の方向性など、新しいテーマにも積極的に取り組みながら、着実に研究成果を世に出していきたいと思っています。また、会計利益を用いて精緻なマクロ経済指標の構築を目指す新しい動きにも興味があります」。真摯な学究の徒に徹する有岡先生。その信念は、これからも社会に、確かな研究成果をもたらしてくれるでしょう。

先生モノがたり 学外の委員会や研究会で 生きた知見に触れる

福岡大学に赴任して以来、有岡先生の研究は、領域だけでなくその場も、学外に向けて大きく広がりました。「2001年に福岡に来て最初に参加したのが九州郵政局が開催していた研究会。この感謝状は最後の研究会で頂いたものです。何度も、九州郵政局のある熊本まで赴き、九州の各大学から集まった先生方と熱い議論を重ねたことを思い出します。離島や過疎地の郵便サービスの実情の報告は印象的でした」と先生。現在も、福岡県景気動向委員会や福岡市公共事業再評価等監視委員会など4つの委員会で、生きた知見に触れているそうです。



九州郵政局から頂いた感謝状。「見るたびに当時を思い出します」と先生



My Teaching Style

スポーツ科学部
柿山 哲治 教授

あらゆる行動の「意味」を
考える習慣を身に付け
より充実した学びの日々を

「先生や先輩に言われたことは、すぐに実行する。こうした素直さは、スポーツ科学部に限らず福大生の多くに共通する特長で、大いに誇っていいところだと思います。とはいえ、言われたから反射的に実行するというレベルにとどまっていたら、成長はありません。学生の皆さんには、あらゆる場面で「意識すること」の大切さを伝えたいですね。「なぜ、これをやるのか?」「何を伝えたいのか?」「なぜ学ぶのか?」。無意識に行動するより、何事にも意識して取り組む方が、確実に良い成果が期待できます。小差は大差。日々意識するか否か、その差は、大学4年間で見ると決して小さくなく、卒業後はさらに大きくなります。



時にはプライベートな質問も交じえながら、活発なディスカッションを展開



発表の論旨を画用紙にマーカーで記述。矢印やQ&Aなど、伝わりやすくするための工夫が随所に



議論が進む中、柿山先生は「この表記、いいね」「その意見は面白い」と、声を掛ける

個々のプレストシートに沿って
白熱した議論を展開

8号館2階の823教室が、明るい熱気に包まれています。300人を超えるスポーツ科学部1年次生が出席し、70組以上のグループに分かれて展開するディスカッションの声です。

この日の授業は、「言葉の力」育成プログラムを取り入れた授業。「議事を進行する司会、意見を発表するプレゼンター、質問を繰り返すコメントレーター、議論を整理して書き留める書記。この4つの役割には読む、聞く、書く、話すという『言葉の力』が凝縮されています」と話すのは、今回の授業を担当した柿山先生。授業の前半で、各自がプレスト（プレインストリーミング）シートに記入した内容を基に、後半のディスカッションでプレストを実践。プレストとは、ある問題やテーマに対し、参加者が自由に意見を述べ、多彩なアイデアを得るための手法の

ことです。グループは司会、プレゼンター、コメントレーター、書記で構成された4人一組。5分1セットのディスカッションを、役割を変えながら4回行うと、4つの役割を全員が体験することになります。今回のテーマは、「部活動における厳しい上下関係は必要か?」。スポーツ科学部生には身近な内容とあって、白熱した議論が繰り広げられました。90分の授業に、「言葉の力」を磨くプロセスが順序立てて組み込まれています。

頭と体をフルに使って
伝わりやすい表現を選び取る

印象的だったのは、プレゼンターが必ず起立する、発表者に拍手を送るなど、授業の中に「動き」が加わっていたこと。「頭だけでなく体もフルに使おう」と、発表者が立てば全員が注目して議論にメリハリが生まれるし、拍手は議論を円滑に進

めるプラスのコミュニケーションとして作用します」と、先生はその意図を説明し、こう続けます。「教員採用試験や就職の面接では、短い時間で自分の意思をいかに的確に伝えるかが問われます。社会人になってからも、報告書や企画発表など、自分の考えを論理的に伝える力が求められます。そのために必要なのは、言いたいことを順序立てて整理し、伝わりやすく表現するスキル。この授業で『言葉の力』をテーマに選んだ理由も、そこにあります。現代社会に不可欠な『言葉の力』を、スポーツ科学部生らしくアクティブに、頭と同時に体と心を動かしながら磨いてくれたら」。

先生の願いどおり、学生たちは全員で活発な議論を重ね、90分の授業は熱気を帯びたまま終了。4つの役割の実践を通じて体感した「言葉の力」が、一人一人の学生生活をより充実させ、その先へ主体的に進む原動力となることでしょう。



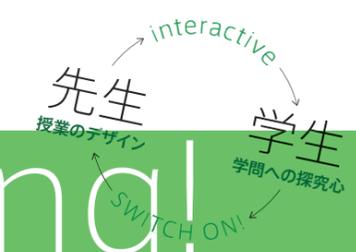
●今回紹介する科目は

スポーツ科学部
専門教育科目
フレッシュマンセミナーⅠ・Ⅱ

1年次生を対象に、スポーツ科学部の全教員で実施する導入教育。スポーツ科学入門教育や日本語能力向上など、毎回テーマも担当教員も変わるオムニバス形式の授業を通じて、大学での学び方やスポーツ科学部生としての基本姿勢を多様な角度から体得します。

司会、プレゼンター、コメントレーター、書記。
4つの役割を体感し、社会で求められる
「言葉の力」と「伝える力」を磨く

学びの現場から Active learning!



Students' Voice

話の要点を素早くつかみ、分かりやすく伝える「言葉の力」を磨くヒントを得ることができました

グループディスカッションでは、意見が異なる人との議論を通じて新たな視点に気付く場面が多く、有意義な経験になりました。4つの役割の中で特に難しかったのは書記で、人の話を素早くつかむ訓練になりました。現時点の目標は、在学中に健康運動指導士の資格を取り、高齢者や障がいを持った方の運動サポートをすること。その際に必要な「分かりやすく伝える力」を磨く意味でも、今後の学生生活では「言葉の力」を鍛える意識を強く持って、人と接していきたいと思ます。



スポーツ科学部健康運動科学科 1年次生 橋爪 菜衣 さん

What's
アクティブ・ラーニング?
教育開発支援機構
須長 一幸 准教授

アクティブ・ラーニングの手法「構造化されたグループワーク」
司会、書記など、各々が明確な役割を担って教員が行うグループワークは、初年次教育で特に有効です。事前に個々の役割のミッションを説明したり、グループワーク中に学生たちに感想や印象を伝えたりして、全員がワークに参加できるようにサポートすると、議論のレベルが上がります。またワーク後、学生たちに振り返りを促すことも重要です。

「構造化されたグループワーク」の期待効果
グループ全員がそれぞれ明確な役割を持ちながらワークに参加すると責任意識、貢献意識が高まります。また、さまざまな役割の経験を積んでいくことで、協働意識や相対的視点も育まれます。例えば、司会の役割を豊富に経験した学生は、自分が司会担当でないときでも、司会の学生を支援できるようになっていきます。



ゼブラ株式会社
CSR推進本部
採用・研修室 採用課 課長
小川 真一郎 さん
[経済学部経済学科 1999年卒業]

「手書き」の良さを未来へ 全ては「人の和」から始まる

新卒採用を担う採用課長として 多様な個性を持った学生と会う

多彩な筆記具を手に取りながら、小川さんが話し始めます。「この『サラサクリップ』は、ジェルインクボールペンのトップセラー商品。面接で会う学生さんも必ず1本は持っています」「これは『デルガード』。世界初の、どんなに力を込めても芯が折れないシャープペンシルで、開発に5年を費やした自信作です」。慈しむように商品の特長を説明する声から、穏やかで懐の深い人柄がうかがえます。ゼブラ株式会社は1897年創業の筆記具メーカー。120年の長きにわたって各種筆記具を世に送り続け、人々の日常に欠かせない「書く」

という営みを支えています。近年では海外での事業展開も進み、シマウマをかたどったロゴマークで知られるゼブラブランドのペンは、世界100カ国以上で使われています。小川さんは1999年、同社に新卒入社。営業の最前線で経験を積んだ後、営業企画や人事全般の業務を経て、現在は採用課長として新卒採用と社員の海外語学留学管理を担当しています。「採用職種は営業から研究開発まで多岐にわたります。毎年、採用活動がスタートする時期には、今年は何んな学生に会えるだろうと、胸が躍ります」と、小川さんはカラフルなメーカーを持ったまま頬を緩め、こう続けます。

「ゼブラは『人の和』を企業バリューに掲げる会社。社名はサバンナに群生するシマウマに由来します。集団行動でライオンなどの外敵から身を守るシマウマのように、みんなで助け合って成長しよう。そんな創業者の思いが、今もゼブラの社風に生きています。新卒採用においても、ゼブラの『人の魅力』を入社の決め手に挙げる学生が目立ちます。17年前の私もそうでした。厚生労働省の統計によると、大学新卒者の入社3年後の離職率は30%に達しますが、「ゼブラでは、ほぼゼロです」と、鍛え上げた胸を張る小川さん。人の和を重んじるその信念は、ソフトテニス部の部活に没頭した大学時代に培われました。



市場に流通するゼブラ製品は約200アイテム。「その大半が消費者の要望を実現したものです。お客さまの声は毎日、全社員が社内メールで共有しています」と小川さん

**部員たちと真剣に向き合い
深い信頼関係を築き上げた**

中学の部活で出会ったソフトテニスに魅了され、東福岡高校では県大会優勝まで上り詰めた小川さん。さらなる高みを目指そうと、全国レベルの強豪校として名を上げていた福岡大学に進学します。ソフトテニスの個人戦は二人一組のダブルスが基本。後衛がラリーを重ねながらゲームを組み立て、前衛がチャンスボールを狙ってポイントを重ねるスタイルです。中学時代から前衛を担った小川さんにソフトテニスの魅力を尋ねると「頭脳プレーですね」と、明快な答えが返ってきました。「ゲーム展開を先の先まで読む一方で、ワンプレーごとに瞬時にゲームプランを立て直していく。自分の頭をフル回転させて試合を有利に進める醍醐味だいごみに魅せられました」。1年次から試合に出場した小川さんは、普通なら何本もラリーを続けて仕掛ける場面で1本目からポイントを取りに行くなど、セオリーにとらわれないプレースタイルを磨き、相手校の選手に「小川のプレーは予測できない」と言わしめるまでに成長。2年次の全国王座決定戦で団体3位に食い込んだのははじめ、全日本学生ランキング9位、西日本インカレ



大学3年次、広島で行われた第51回国民体育大会秋季大会でのスナップ。後列右端が小川さん

でシングルス3位、九州インカレでは団体戦、ダブルス、シングルスで優勝するなど、輝かしい戦績を残しました。

2年次から副主将、3年次からは主将として後輩の育成にも力を注ぎました。副主将時代には、上級生から1年次生に向けた叱責しじやくを一身に受けたことも。主将時代は厳しい指導を貰いながらも、部員の意思を最大限に尊重。指導する際、無理やり押さえ付けるような態度は決して取らないよう心掛けたと言います。「昼間どんなに厳しく接しても、『食事に行こう』と一声掛ければ、みんなついてきてくれました」と懐かしそうに振り返り、確信を込めてこう話します。「部員間で深い信頼関係を築けたことが、試合の結果以上に大きな財産になっています」。

**授業、部活、アルバイト
一切手を抜かず完全燃焼**

全国トップレベルを視野に入れた部活は、実に過酷です。正月や夏のインカレ後の短いオフ期間を除き、来る日も来る日も、夜8時近くまで猛練習。早朝のコート整備を受け持つ1年次生はとりわけハードで、まさに息もつかない毎日です。それでも小川さんは一貫して、絶対に授業を休まないことを自らに課していたそうです。「学費を出してくれている両親に申し訳ない、その一心でした。副主将になってからは、後輩に手本を示す意図も加わりました。自分が怠けているくせに、『授業

**一度始めたことは
途中で投げ出さず、
納得いくまで
追求する。**

に出なさい」とは言えませんが、その真意を明かします。また授業や部活と並行して、入学直後から始めたファーストフード店のアルバイトは、週3回の深夜勤務にもかかわらず全力で取り組み、卒業まで継続。アルバイト先ではチームの職責を任せられ、卒業時には「新たに出勤するフラッシュチャイブ店の店長にならないか」と打診を受けるほどの信頼を得ました。授業、部活、そしてアルバイト。どれ一つとして手を抜かず、ストックなまでに自分を追い込む原動力は何だったのでしょうか。小川さんは言います。「何事も途中でやめたら、それまでに積み上げた努力は何だったのか」ということになる。だから私は、一度始めたことは途中で投げ出さず、納得いくまで追求したいと思うのです。その真つすぐな信念は、創業以来ずっと愚直なまでに筆記具専門業を守り続けるゼブラの企業姿勢にも、どこか重なります。小川さんは真つすぐ前を見据えて、こう付け加えます。「福大では納得いくまで完全燃焼できたと、自信を持って言えます。自分の学生生活に、悔いはありません」。



**社員間だけでなく、取引先や
消費者との結び付きも重視**

やがて就職活動の時期。小川さんは「両親が喜んでくれる就職」を第一条件に志望業界を絞り、人々の生活に溶け込んだ身近な商品を扱うメーカーに標準を定めます。そのうちの1社がゼブラ。会社説明会に参加し、面接に進んだ段階で、その後に予定されていた他社の選考を全て断ったと言います。「採用担当の皆さんの人柄に魅かれたのです」と、小川さんは満面の笑み。面接の控室で軽く声を掛けて緊張をほぐし

てくれたり、面接では「友人とよく食事に行きますか」といった質問を織り交ぜて、話しやすい雰囲気にくれました。そんな皆さんの姿に、「評価する前に、人として通じ合いたいという姿勢が感じられて。こころかなと思います」と話します。

入社早々、印象的な出会いが待っていました。配属された大阪支店の支店長をはじめ、福大の先輩が何人も在籍し、かわいいうちの先輩をもう手を挙げて歓迎してくれたのです。小川さんは「例えば社内で、つい博多弁が出て大丈夫。小さなことですが



**大切なのは、
心配り、
目配り、
心配り。**

**相手目線に徹し、
信頼を深めていく。**

**互いの信頼関係を起点に
温かな「人の和」を広げていく**

採用課のメンバーは、小川さんを含めて4人。メンバーには日ごろから「心配り、目配り、心配りを大切に」と話しているそうです。「何事も相手目線から発想すれば、今取るべき行動が分かり、その実践を重ねることで、信頼関係が深まります。採用活動においては、自分本位、会社本位にならず、自分が学生だったらどこに不安を感じるかと考えて行動する、そんな姿勢を徹底

が、おかげですぐ職場に溶け込むことができました」と話し、これは私に限ったことではありませんが、と前置きしながら、続けます。「営業活動から戻ると、支店長が毎日のように『今日はいいことあったか』と声を掛けてくれました。後で分かったのですが、私が報告した営業先と商談内容に合わせて先方に『今後とも小川をよろしくお願いします』とフォローの電話を入れてくれたのです」。その後大手の販売代理店や量販店を担当するようになってからも、こころという場面では、その時々の上司や仲間が助けてくれたとか。「長年のお付き合いを通じて、取引先の多くと、お互いに無理が言い合える信頼関係を築いています。ゼブラが掲げる『人の和』とは、社員間はもちろん、取引先やエンドユーザーとの結び付きを大切に



ゼブラでは「相手目線」が鉄則。学生と接するときは学生の目線で考え、不安の解消とゼブラへのより深い理解と共感を促す

する姿勢。学生時代から仲間とのつながりを大切にしてきた私には、厳しい社会であっても、自然に振る舞える環境です」。

くれたと確信できる学生ばかりです。入社を前に、内定者同士の交流も広がっています。11月の内定式の後にも、みんなが文具カフェに立ち寄り、量販店の店頭でゼブラのペンを試し書きしている写真が、社内内定者向け掲示板にアップされていました」と話す小川さんの表情に、また一段と大きな笑顔が広がりました。最後に、就職活動に臨む福大生へのアドバイスをお願いすると、「ゼブラもそうですが、世の企業の多くが福大生の前向きな明るさ、コミュニケーション力を高く評価しています。無理して背伸びせず、等身大の自分で勝負してください」と、この上なく頼もしいメッセージを頂きました。



小川さんの指揮の下、完璧なチームワークで新卒採用に取り組む採用課の皆さん。創業者・石川徳松翁の銅像に見守られて

就職・進路支援センターからのお知らせ

2日間で300社と出会うチャンス「学内合同企業説明会」を開催

本学では、3月1日(水)・2日(木)、「学内合同企業説明会」を開催します。この説明会には、2日間で計300社が参加。いずれも本学学生の採用に積極的な企業で、業種・規模とも多岐にわたります。参加企業名は事前に就職ガイダンスやFUポータル等でお知らせします。自分の志望業界や志望職種に沿ってチェックし、2日間を有効活用しましょう。また当日に配布するパンフレットは、福大生の採用意欲が高い企業の採用情報を一冊にまとめた、いわば他にはない“福大生のための就活バイブル”。企業研究はもちろん、当日話が聞けなかった企業への連絡など、その後の活動に大いに役立ててほしいと思います。

就職・進路支援センター

では、就職・進路に関するあらゆる相談に対応しています。どんなことでも結構です。ぜひ気軽に相談してください。



就職・進路支援センター 事務室 南川 久世 さん

平成30年3月卒業予定者対象

学内合同企業説明会

3/1(水)、3/2(木)
各日150社 2日間で約300社(予定)
会場:第二記念会堂

学内個別企業説明会

3/3(金)~4/7(金)
1日8社(予定)

4/10(月)~後期授業終了まで(予定)
1日5社(予定)

会場:学内の教室 ※土・日・祝日・3/6(月)を除く

【就職・進路支援センター公式ウェブサイト】
<http://www.career.fukuoka-u.ac.jp>

FUポータルやFacebook, Twitterでも就職や進路に役立つ情報を随時発信中です。ぜひチェックしてみてください。上記ウェブサイトよりリンクしています。



環境保全の研究や実践活動、そして「公務員採用試験対策講座」受講で難関を突破

都心部を中心に下水道管更新工事の監督・指導を行う

福岡市道路下水道局建設部中部下水道課に所属する池田さん。中央区や南区、博多駅周辺地区を担当し、50年以上経ているものが多い下水道管更新工事の現場監督を主に務めています。担当するエリアは都心部が多いため、工事中は交通渋滞の対応や振動・騒音対策なども必要になります。また、地下には電線やガス管などが複雑に埋められており、「過去の工事の図面を参考にしながら施工業者と協議を重ね、安全に効率良く進めることを心掛けています」と話す池田さん。さらに「専門的な技術や知識はもちろん必要ですが、地域の方々に理解や協力を得るため、工事前に工事概要などを分かりやすく伝えることも大切な業務です」。

インフラを整備するためのしっかりとした技術と知識、社会に貢献したいという思い、そして人と人との関係を円滑にして工事をスムーズに進めるための能力。こういった現在の仕事に必要なものは、大学時代に養いました。

目標を専門職公務員に定めて難関突破へ積極的に行動

子どもの頃から建築や土木に興味を持っていた池田さんは、両分野に関連することを学べる社会デザイン工学科に進学。2年次の「水理・環境実験」では、綿密な実験を繰り返す中で、インフラ整備に欠かせない知識をしっかりと身に付けることができました。3年次冬からは「水理・環境実験」を行う渡辺亮一先生の研究室へ。併せてボランティア団体の「はかたわん海援隊」に所属し、環境保全の活動に取り組みました。グループ研究や活動で多様な人々と交流し「人への心配りや思いやり、社会貢献することの大切さに気付くことができたのは、研究室での学びと経験のおかげです」と振り返ります。3年次の秋には目標を「土木の専門職公務員」と明確に定め、難関突破への行動を開始。エクステンションセンターの「公務員採用試験対策講座」を受講し、先生や先輩の助力を受けて面接の準備も入念に行いました。その積極性が功を奏し念願を叶えた池田さん。現在の目標は「まちづくりの基本計画にも関わる総合的なシビルエンジニアになること」です。



就活メモリー

さまざまな職場で働く若き先輩たちの貴重な言葉が、就職活動を後押ししてくれます。

地域を大切にするFace to Faceの姿勢に共感して入社を強く希望

一人一人の話をじっくりと聴きその人に最適な商品を提案する

主に貯金と保険の窓口を担当している下川さん。赴任当初、福岡出身の彼女が一番戸惑ったのは土地の言葉です。「例えば“えすかけん(怖いから)”という言葉。どういう意味ですか?と尋ねたら、お客さまから苦笑されて…。今ではすっかり慣れ、時には伊万里弁で対応できるようになりました。地域に根付いた郵便局の際立つ特長はFace to Faceのコミュニケーション。窓口では貯金の取り扱いなどの一般業務の他に貯金に関する商品、保険商品等の販売も行います。多種多様な商品やサービスを深く理解し、その上で相手のニーズや状況などの話をじっくりと聴いて一人一人に合うものを選択、提案理由を分かりやすく説明します。「その商品を納得してご購入いただき、“あなたに相談して良かった”と言われるのが一番の喜びです」と、下川さん。「人と話すこと、接することが好きだから、毎日が充実しています」とほほ笑みながら付け加えました。

多様な就職活動経験を重ねる中で自分の個性を生かせる企業に出会う

高校生の頃から、著名な企業リーダーに関する本を読んでいた下川さん。その発想や戦略に興味を持ち経営学科へ。専門ゼミで「経営者」について考察する過程を通し「人間への興味」がますます強くなったと言います。また、仲間たちとディスカッションを重ねる中で、自分の考えをまとめて分かりやすく伝える、人の話をじっくりと聴くなどのコミュニケーション力を磨きました。就職活動に際しては「人とコミュニケーションをとる」ことが生かせる仕事を志望。一般企業の営業等、幅広くチャレンジしました。就職・進路支援センターも有効に活用。模擬面接では実践的なノウハウや心構えを学んだそうです。就職活動期間中に多くの経験を重ねながら、情報の取捨選択方法や、自己PR力、礼儀や所作などを磨いてきた下川さん。その中で自分の個性を一番生かせるような企業に出会えたのです。大好きな「窓口業務」で頑張る下川さん。主任→課長代理→課長と着実に階段を上っていきたいと抱負を語ってくれました。



4年次9月

朝10時に福岡市役所本庁舎5階へ。掲出された紙に自分の受験番号を見つける。すぐに渡辺先生に報告。「おめでとう」の言葉が身に染みる。

3年次冬

渡辺先生の研究室へ。「はかたわん海援隊」の一員として、ボランティア活動に取り組む。

3年次秋

エクステンションセンターの「公務員採用試験対策講座」を受講。専門職公務員として働く研究室の先輩、先生のサポートを受け、情報収集や「面接」対策を行う。

3年次夏

鳥栖市役所での「インターンシップ」に参加。「人よりも早く目標を立てれば、その分準備ができる」と先輩に助言をもらい、「土木の専門職公務員」を志す。

2年次

現在の仕事につながる講義、渡辺亮一先生の「水理・環境実験」に出会う。

1年次

学びの傍らバレーボール愛好会に所属。「4年間で身に付けたチームプレー精神は仕事にも役立っています」。

就活サクセスチャート

● 就活アドバイス

新聞を読み、気になった記事の内容を把握して自分の意見をまとめる。研究室で、先生の前で発表する。新聞を読むことで視野や知識が広がり、発表することで構成力や思考力、表現力が身に付き、最高の練習になりました。皆さんも友人同士などで取り組んでみてください。



4年次5月

4次にわたる選考を経て内定獲得。「選考期間が長かっただけに喜びもひとしおでした」。

3年次12月

就職活動スタート。「人と接する」ことのできる営業を中心に幅広い業種にチャレンジする。年が明けて3月、地域住民とのコミュニケーションを重視する「日本郵便株式会社」にエントリー。

2年次

森正紀先生のゼミで「経営者」の発想や人となりを考察。「人間への興味」が強くなる。グループ研究を通して、コミュニケーション力を磨く。

1年次

1年次から4年次までカフェやブックストアでアルバイト。ニーズを聴き、商品を提案することに喜びを感じる。「今の窓口業務の原点です」。

入学

経営はもちろん、経営者に興味があり経営学科へ。「同じ学科出身の姉の影響もありました」。

就活サクセスチャート

● 就活アドバイス

さまざまな企業にエントリーし、多くの経験を積み重ねることが大切です。例えば失敗しても、自分をより深く分析し、個性をさらに磨く良い機会だと捉えてください。また企業との出会いの機会が多いほど、自分の能力や性格に合いそうな企業を見つけやすくなると思います。



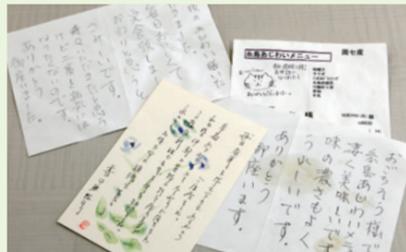
ヒポクラテスの系譜

福岡大学病院 × 伊都菜彩

全国から注目されるブランド野菜を用いた 病院食「糸島あじわいメニュー」が好評

患者さんからのお礼の言葉を部内で共有 さらなる改善のモチベーションに

「糸島あじわいメニュー」を味わった患者さんからも「すごくおいしい」「毎回、完食しています」と、うれしい言葉を頂いています。無事に退院となり、メニューカードに「今までありがとうございました。このメニューも今日で最後と思うと、寂しいです」とつづる人や、感謝の言葉をしたためた絵はがきを退院時に手渡してくださる方も。「頂いた感想は栄養部内に掲示し、厨房スタッフも含めて全員で共有しています」と倉橋さん。手紙だけでなく、病棟で患者さんから掛けてもらった「今日の料理、おいしかったよ」といった生の言葉も極力、伝えるように心掛けているそうです。「食事の提供は、きめ細かく役割を分担し、分刻みで進めなければならない仕事。ご意見やご要望も含めて、患者さんの忌憚ない感想がスタッフの結束を強め、新たなモチベーションを生んでいます」と、倉橋さんは確信を込めて話します。



栄養部のスタッフにとって、食事の後に患者さんから頂くお礼の言葉は、何よりのエネルギー源になっている



糸島直送の新鮮な野菜を手に。左から武田由香さん、倉橋操さん、本城史子さん

福岡大学病院
FUKUOKA UNIVERSITY HOSPITAL

食を通じて 「大地の生命力」を届けたい

真っ赤に熟したパプリカ、みずみずしい緑が際立つ葉物野菜。これらは、2016年7月、福岡大学病院で入院患者の方々に対象に導入された病院食「糸島あじわいメニュー」の食材の一部です。福岡市の西部、海と里山が織りなす豊かな自然が広がる糸島エリアは、新鮮な野菜や魚介、肉類、天然の塩など、大地の生命力を凝縮したような食材の宝庫。「糸島あじわいメニュー」は、同病院の栄養管理を担う栄養部と、JA糸島が運営し、全国一の売り上げを誇る直売所「伊都菜彩」との連携を通じて開発されました。「病院食は治療の一環。入院中で減退しがちな患者さんの食欲を増進させ、おいしく食べていただく施策が課題でした」と、今回のメニュー開発の背景を説明するのは、栄養部副技師長の倉橋操さん。同メニューには有田焼の磁器を採用し、詳細な使用食材とコメントを加えたメニューカードを添えるなど、食欲増進を図る工夫が随所に。現在は有料個室入室者および一般入室者で希望される方で、医師の許可が出た患者さんに提供しています。JA糸島や、調理を担当する協力会社との交渉を一手に担い、メニュー開発を主導した栄養部主任の本城史子さんは「糸島野菜の素材の良さを最大限生かした料理に「味も見た目も良い」「力が出る」など、患者さんに好評を頂いています。以前は食欲がなかったのに、このメニューで食欲が増したという方もおられます」と、導入の手応えを語ります。

患者さん一人一人と寄り添う 臨床栄養管理にも注力

「糸島あじわいメニュー」の導入と並行して取り組んだのが、病院食全般のメニュー改善。「入院期間の短期化を背景に献立構成を見直し、3週間サイクルだった基本メニューを2週間に変更。また入院患者さんのご意見やご要望を踏まえ、野菜の色味を生かす加熱調整など、きめ細かな改善も行いました」と本城さん。今後は食器の改善にも取り組みたいと、患者本位の病院食改革の継続に意欲を燃やしています。病棟を巡回して患者お一人お一人の栄養状況を確認し、個々の病状に応じた栄養管理に生かす臨床栄養管理にも力を入れています。「2016年10月からは食材の発注管理から調理、病院食調理の実務全般までを協力会社に委託。そのおかげで、栄養部に所属する管理栄養士に担当病棟を振り分け、各病棟の担当医や医療スタッフと連携を深めながら、より実情に即した詳細な栄養食事指導を行える体制が確立しました。糖尿病療養指導士、NST（栄養サポートチーム）専門療法士など、臨床指導に直結する資格を取得する管理栄養士も少なくありません」と話す倉橋さんの言葉からも、医療チームの一員として栄養部が担う役割が着実に広がっていることがうかがえます。日々の入院患者さんを対象とした給食管理や臨床栄養管理に加えて、ご家族を対象とした糖尿病教室や母親学級といった集団栄養食事指導にも注力しています。「食で病を癒やす！」が、本病院栄養部の理念。治療の一環である病院食を「よりおいしく、少しでも楽しく」と願う、栄養部の真摯な努力はこれからも続きます。



病院食を調理する厨房は本病院の旧館・新館の二カ所があり、入院患者の「食」を一手に担っている



「糸島あじわいメニュー」の一例。野菜サラダには、コリンキやスイスチャードといった珍しい野菜も



福大病院新館1階の栄養相談室では、退院後の家庭での食事と栄養管理に関する相談にも対応



栄養部は、歯科口腔外科医の喜久田利弘教授を部長に、管理栄養士14人、事務職員1人という陣容。食材調達と調理を担う協力会社と協力し、入院患者さんの「食」の充実に力を注いでいます

福岡大学病院 栄養部

「食で病を癒やす！」を理念に、入院患者さんを対象とする給食管理ならびに栄養管理全般を担当しています。医師や看護師とも密に連携し、通常の病院食に加えてチューブを用いた流動食など、患者さん一人一人の病状に応じたきめ細かな栄養管理と栄養食事指導を徹底。「食」の面から治療効果を高め、患者さんの一日も早い回復をサポートしています。

寄付者ご芳名一覧

現在、福岡大学では大きく2つの募金活動に取り組んでおり、それぞれの趣旨にご賛同いただいた皆さまから、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力が寄せられておりますことに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を左記要領のとおり掲載させていただきます。

福岡大学新体育館・工学部棟建設募金 (平成27年7月～平成30年3月)

キャンパス整備事業の一環として、築50年を経過している第一記念会堂ならびに4号館の建て替えとして、福岡大学総合体育館と工学部棟(仮称)の建設を進めております。

この2つの建物の建設資金の一部に充当し、教育・研究環境の充実を図るために「福岡大学新体育館・工学部棟建設募金」として平成27年7月から募金活動を開始しております。

この募金活動を行うことによって、卒業生、保護者、地域、教職員等の絆が深まることを目指し、本学の理解者・協力者を増やす活動と位置付けたいと考えております。

昨今の厳しい経済情勢のもと、誠に恐縮には存じますが、何とぞ本学の意をご賢察くださり、募金活動にご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



福岡大学総合体育館(仮称)

- 主要用途: 体育館施設、部室
- 着工: 平成27年10月
- 竣工: 平成29年2月予定
- ※平成28年6月、正式名称として決定しました。



工学部棟(仮称)

- 主要用途: 電気工学科、電子情報工学科、ものづくり工房、地域多目的支援室等
- 着工: 平成28年11月
- 竣工: 平成30年2月予定

福大生サポート募金(恒常募金)

福大生サポート募金は「本学の学生に対する全人教育の推進、豊かな学生生活の形成を支援する制度」として、在学生、卒業生、保護者、大学の相互の絆をより一層強めるとともに、本学独自の寄付文化の醸成を図ることを目指し、平成23年6月から開始しております。

本募金は金額の多寡にかかわらず、末永く継続的にご支援くださることを願うものであります。これからも皆さまの変わらぬご賛同・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、平成28年度から寄付金の使途として、新入生の経済的支援を目的とした「七隈の杜給付奨学金」を加えました。詳細は、募金趣意書または「募金のご案内」ウェブサイトをご覧ください。

寄付者ご芳名掲載要領

- 一、本号では、平成28年7月1日から9月30日までの寄付者のご芳名を掲載します。
- 一、卒業生、在学生の保護者、職員、役員、企業等法人、その他という募金対象者の区分ごと(寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順)に掲載します。
- 一、分割での払い込みの方は、ご芳名掲載期間中に「寄付をいただいた金額」と、募金開始からの累計寄付金額を「」で掲載します。

※同じ方が卒業生、職員等別々の立場でご寄付をされた場合は、それぞれの欄に掲載させていただきますので、ご了承ください。

※(減税措置について) 福岡大学に対する寄付金は、原則として、個人・法人を問わず寄付金控除の対象となります。詳細は、募金趣意書または「募金のご案内」ウェブサイトをご覧ください。

福大生サポート募金(掲載第11回)

寄付金受入状況【使途別】

使途	平成28年9月30日現在		
	平成28年6月までの寄付金額(円)	平成28年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
七隈の杜給付奨学金	0	105,000	105,000
経済的困窮学生に対する給付奨学金	11,597,805	192,200	11,790,005
学生海外大学派遣プログラム	1,314,100	123,200	1,437,300
学生スポーツ強化	1,982,600	12,200	1,994,800
福大生ステップアッププログラム	1,297,600	23,200	1,320,800
その他、学生支援事業	29,489,295	6,447,200	35,936,495
合計	45,681,400	6,903,000	52,584,400

寄付金受入状況【募金対象者別】

募金対象者	平成28年9月30日現在		
	平成28年6月までの寄付金額(円)	平成28年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	10,918,969	10,000	10,928,969
在学生の保護者	9,324,000	130,000	9,454,000
職員・役員	10,190,162	1,333,000	11,523,162
企業等法人	8,250,741	5,030,000	13,280,741
その他	6,997,528	400,000	7,397,528
合計	45,681,400	6,903,000	52,584,400

卒業生	在学生の保護者	職員・役員	企業等法人	その他
平野 俊一 (五十万円)	八尋 真理子 (八万円)	西嶋 喜代人 (二十一万円)	福岡大学サービス (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
平尾 秀人 (三万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 政俊 (十万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
久富 惇 (三万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
中村 健次 (十万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
為田 一雄 (五万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
平田 竜介 (三十万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
堀 洋子 (二万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
堀 洋子 (二万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
堀 洋子 (二万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)

福岡大学新体育館・工学部棟建設募金(掲載第3回)

寄付金受入状況【使途別】

使途	平成28年9月30日現在		
	平成28年6月までの寄付金額(円)	平成28年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
福岡大学総合体育館建設	31,488,000	11,131,000	42,619,000
工学部棟(仮称)建設	27,347,000	11,214,000	38,561,000
使途指定なし	4,103,000	570,000	4,673,000
合計	62,938,000	22,915,000	85,853,000

寄付金受入状況【募金対象者別】

募金対象者	平成28年9月30日現在		
	平成28年6月までの寄付金額(円)	平成28年7月～9月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	7,471,000	732,000	8,203,000
在学生の保護者	6,107,000	130,000	6,237,000
職員・役員	14,010,000	1,403,000	15,413,000
企業等法人	34,240,000	20,050,000	54,290,000
その他	1,110,000	600,000	1,710,000
合計	62,938,000	22,915,000	85,853,000

卒業生	在学生の保護者	職員・役員	企業等法人	その他
平野 俊一 (五十万円)	八尋 真理子 (八万円)	西嶋 喜代人 (二十一万円)	福岡大学サービス (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
平尾 秀人 (三万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 政俊 (十万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
久富 惇 (三万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
中村 健次 (十万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
為田 一雄 (五万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
平田 竜介 (三十万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
堀 洋子 (二万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
堀 洋子 (二万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)
堀 洋子 (二万円)	大城 弘美 (二万円)	山口 龍三 (十二万円)	株式会社 (五十万円)	小柳 光子 (四十万円)

福岡大学への寄付者ご芳名一覧	
● 25,000,000円 株式会社福岡大学サービス 様	● 100,000円 小柳 光子 様
● 1,000,000円 粕屋殖産株式会社 代表取締役 篠原 隆盛 様	● 特注歴代表彰記念ボード、特注メダル額フレーム 福岡大学附属大濠高等学校同窓会大濠翼成会 様
● 800,000円 日本コカ・コーラ株式会社 様	
● 300,000円 BACON EGG COMPANY 様	

▶ 第12回学生チャレンジプロジェクト採択の「楽しくミニサイズ」で健康・体力アップ

福岡大学の学生が企画した独自のプロジェクトを、福岡大学が物心両面から支援する「学生チャレンジプロジェクト」。第12回となる2016年度は、「楽しくミニサイズ～スポーツの力で健康・体力UPっば～」が採択されました。

このプロジェクトを企画したのは、スポーツ科学部健康運動科学科3年次生、11人のメンバー。全員、運動生理学を専門とする檜垣靖樹スポーツ科学部教授のゼミに所属しています。「プロジェクト発足のきっかけは、2016年4月の熊本地震発生後に耳にした悲しいニュースでした」と振り返るのは、代表の村上静香さん。車中泊などで長時間同じ姿勢を強いられる被災者の中から、エコノミークラス症候群で死者が出たという報道に衝撃を受け、「何か自分たちにできることはないだろうか」と考えました。その結果、授業で学んだ運動生理学の知見を生かし、エコノミークラス症候群を予防・改善する運動プログラムを考案することに。準備を進める過程で、福岡県の児童・生徒の体力が全国平均より低水準であるというデータを知り、エコノミークラス症候群の予防・改善とともに児童・生徒の体力向上効果も視野に入れたプログラムの作成を進めました。

こうして完成したのが「楽しくミニサイズ」。音楽に合わせて踊りながら楽しく有酸素運動を行う、1分間のオリジナルプログラムです。「高齢の方を中心とした成人向けと児童・生徒向けの2つのバージョンを用意。高齢の方が親しみやすいように盆踊りの動きを導入する一方、児童・生徒向けではダッシュなど運動強度の高いエクササイズを組み込むなど、構成を工夫しました」と、村上さんは話します。プロジェクトでは、福岡市内



熊本地震のニュースをきっかけに立ち上がったプロジェクトメンバー

2カ所の小学校で体育の授業に定期的に参加し、おそろいのTシャツ姿で児童と一緒にミニサイズを実践するほか、七隈祭の地域ハロウィンパレードや商業施設で行われた体力づくりイベント等でも披露。村上さんは「イベントでは、運動の前にクイズ形式でエコノミークラス症候群の基礎知識を伝え、参加者の皆さんに予防を意識して運動していただくように。また運動負荷試験では運動前後の運動量の変化を検証し、効果を実感していただきました。イベント後のアンケートでも『運動して元気になった』という感想が目立ち、励みになっています」と話します。最後に「今後は大学周辺の公民館や団地、自治会など、地域の皆さんにも『楽しくミニサイズ』に親しんでほしいです」と、抱負を語ってくれました。



運動をするときの酸素量などを測り、より効果的なエクササイズに



横手小学校の体育の時間に「楽しくミニサイズ」を披露

来てみて 話して ころの整理

- 例えば…
- 人間関係がうまくいかない
 - 単位のことが心配
 - 朝起きられない
 - よく眠れない
 - 授業に行くのがおっくう etc.

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談を受け付けています。どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか？相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。サークル、授業などの対人関係場面や就職活動・アルバイト面接などで役立つスキルを体験的に学ぶセミナーも行っています。詳細はHDセンターのウェブサイトを確認してください。

費用 無料(相談、セミナー、交流会) **完全予約制**
相談時間 月・水・木・金/9:30~16:00 火/9:30~18:40
場所 学生部事務室棟3階(1階に学生課のある建物)

○本学学生のことであれば、ご家族・教職員の皆さまからのご相談もお受けしています。

ヒューマンディベロップメントセンター(HDセンター・学生相談室) TEL:092-871-6631(代)(内線2630)
 ●ウェブサイトもご覧ください。http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm ※お電話は平日の16:30までをお願いします。



(後列左から)高村さん、永田さん、城戸さん
(前列左から)小林さん、松嶋さん、松本さん

福岡大学法科大学院の学習環境を生かし 6人が難関の司法試験に合格

幅広い知識や法的思考力など、高度な専門性が問われる司法試験。ひたむきに努力を重ね、法曹への道を切り開いた合格者たちに話を聞きました。

■城戸 聡志さん
 中央大学法学部2004年卒業
 福岡大学法科大学院2010年入学(第7期生)

全国の多様な大学の出身者が入学しており、合格率も高いという確かな実績に引かれて、本法学部法科大学院を選びました。少人数制で先生との距離が近く、気軽に意思疎通を図れる環境があるのが魅力です。試験範囲は膨大で意欲が下がる時期もありましたが、私は勉強以外でも親身に相談に乗っていただいたおかげで難関を突破できたと考えています。

■小林 健一さん
 西南学院大学法学部2006年卒業
 福岡大学法科大学院2007年入学(第4期生)

有名な検察官の方に直接指導していただける環境であったことが本法学部法科大学院への入学の決め手でした。また、将来の自分の道を選択する上で、学生時代に現役の検察官の方と接することができるという点も非常に有益と考えました。本法学部法科大学院はチューター制度があり、OBの若い弁護士の方々に細かく個別指導していただいたことも身になりました。

■高村 欣光さん
 中央大学法学部2007年卒業
 福岡大学法科大学院2008年入学(第5期生)

本法学部法科大学院は同期の他、先輩後輩とのつながりも深く、自然と学生同士が切磋琢磨し、支え合う雰囲気があるのが魅力です。私なりに心掛けていたのは、勉強をルーティン化し、規則正しく知識を修得すること。そこで役立ったのが、法律関連の書籍が充実している自習室。静かで集中しやすく、教授室までの距離も近いので質問に行きやすく、効率良く学べました。

■永田 光さん
 福岡大学法学部2011年卒業
 福岡大学法科大学院2011年入学(第8期生)

各学生の実力を把握し、一人一人に合った適切な指導やアドバイスをしていたいただいた先生方にはとても感謝しています。当初、私は刑事法の分野が不得意でした。しかし、担当の先生に何度も丁寧に過去問題の添削と解説をしていただいたおかげで、徐々に理解を深められ、不得意分野を克服することができました。

■松嶋 健一さん
 福岡大学法学部2008年卒業
 福岡大学法科大学院2008年入学(第5期生)

合格に向けて自分なりに重要だと捉えていたのは、先生方や学友たちと議論すること。本法学部法科大学院には多くのゼミがあり、意見を戦わせます。その議論を通して、論理的な思考力を磨き、新たな視点や気付きを得ることで法律を運用する基礎力を養えました。ここには、法律のプロになるための「確かな学び」があると実感しています。

■松本 圭史さん
 福岡大学工学部2009年卒業
 福岡大学法科大学院2009年入学(第6期生)

本法学部法科大学院は純粋な修業者対象のゼミや授業が充実しており、安心して勉強できる万全のサポート体制が整っています。私自身も工学部出身で、入学当初、法律の知識は全くありませんでした。しかし、しっかりと基礎を指導していただいたおかげで、早い段階で法学部出身者と同じように法的な考え方を理解できるようになりました。その結果、念願の司法試験合格を手にできました。

イベントスケジュール

※学部や学年などによって異なる場合があります。

1月	冬季休業終了(4日)
	後期授業再開(5日)
	大学入試センター試験(14日・15日)
	後期授業終了(18日)
	後期定期試験(19日～28日)
	学部留学生入試(30日)
2月	一般入試(系統別日程)(本学・各地2日)
	一般入試(前期日程)(本学・各地3日～6日、11日)
	一般入試(前期日程、スポーツ科学部スポーツ科学科(実技型))(本学6日・7日、11日・12日)
	成績発表(医学部医学科第1～4学年)(10日)
	医師国家試験(11日～13日)
	成績発表開始(医学部医学科を除く4年次生以上)(15日～)
	保健師国家試験(17日)
	海外研修生派遣(アメリカ・オーストラリア)(18日～3月18日)
	看護師国家試験(19日)
	大学院春季入試(19日～22日)
	一次学士合格者発表(21日)
	一般入試(系統別日程・前期日程)、センタープラス型入試、大学入試センター試験利用入試[1期・II期]合格発表(22日)
3月	学部留学生入試合格発表(22日)
	追・再試験(24日～3月1日)
	交換留学生派遣(中国・韓国・台湾)
	薬剤師国家試験(25日・26日)
	海外語学研修生派遣(中国)(26日～3月12日)
	一般入試(スポーツ科学部特別募集)、社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試(4日)
	一般入試(後期日程)(6日)
	大学院春季入試合格発表(8日)
	修士・博士学位合格者発表(9日)
	成績発表(医学部医学科第2～5学年)(9日)
	二次学士合格者発表(14日)
	一般入試(後期日程、スポーツ科学部特別募集)、社会人入試(後期日程)、編・転・学士入試合格発表(15日)
	在学生成績発表開始(医学部医学科第1学年を含む)(15日～)
	医師国家試験合格発表(17日)
	学部卒業式・大学院学位記(修士)授与式(19日)
	商学部第二部卒業レセプション(19日)
	大学院学位記(博士)授与式(21日)
	保健師国家試験合格発表(27日)
看護師国家試験合格発表(27日)	
薬剤師国家試験合格発表(28日)	
4月	在学生履修登録(下旬)
	入学式(1日)
	前期授業開始(10日)

本誌「福岡大学学園通信」に関する感想をお寄せください。より良い広報誌づくりのために、ご意見・ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

第56号(通巻226号)平成29年1月23日発行
編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)
 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目1番1号
 TEL:092-871-6631(代) E-mail:fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

オンライン版は [福岡大学学園通信](#) 検索

▶ 福岡大学が「飲酒運転撲滅宣言」

10月24日(月)、「第4回学生生活安全あんしんセミナー」を開催しました。飲酒運転事故によりご息女を亡くされ、講演活動を通じて飲酒運転撲滅運動に取り組まれている大庭茂彌さんを講師に迎え「飲酒運転事故で娘を亡くした父親として」を演題にご講演いただきました。大庭さんは、最愛の娘を理不尽な事故で失った悲しみと、平穏な日常を一瞬にして奪い去る飲酒運転の不条理を説き、飲酒運転撲滅を訴えました。講演後は山口政俊学長および学生代表の森大地総務委員会委員長(経済学部経済学科3年次生)などが、「飲酒運転を絶対に許さない、させない、許さない。福岡大学は飲酒運転を絶対に許しません」と、「飲酒運転撲滅宣言」を行いました。



「飲酒後は絶対にハンドルを握らない。その決意が事故の根絶につながる」と語る大庭さん

商学部第二部「社会人コース」履修生募集

商学部第二部商学科では、会社員、中間管理職、経営者、公務員、熟年層、リカレント教育希望者等の社会人を対象に、1年間の履修期間で、金融・流通・経営、会計、国際ビジネスの4つの分野を体系的かつ横断的に学べる「社会人コース」を開設しています。コース修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書(社会人コース修了証)を授与します。1年間で修了できない場合には、1年間の延長も可能です(追加受講料は不要)。平成29年度履修生募集の詳細については、商学部事務室にお問い合わせください。

商学部事務室 TEL.092-871-6631(月～金17時まで)
 TEL.092-871-6670(月～金17時以降、土18時以降)

第12回(平成28年度)全国高校生川柳コンクール入選作品発表

福岡大学が主催する全国高校生川柳コンクールに、今年度は全国123校の高校生9,674人から過去最多となる23,613作品の応募がありました。その中から、金賞、銀賞、銅賞、全日本川柳協会賞、西日本新聞社賞、入賞(45作品)、学校賞を選出しました。今回は初めてウェブ投票も行い、一般の方にも投票に参加していただきました。

金賞 (福岡大学長賞)
LINE鳴る 既読付けるか 心理戦 茨城県・つくば開成高等学校3年 三浦 悠希さん
銀賞
姉帰省 家族みんなの 箸そろう 長崎県・純心女子高等学校1年 森内 美帆さん
銅賞
あたり前 じゃないと知った 震災後 福岡県・福岡大学附属若葉高等学校3年 清水 彩音さん

詳細はこちら [全国高校生川柳コンクール](#) 検索

▶ 各方面で目覚ましい功績を挙げた学生を表彰 — 課外教育活動成績優秀者 —

10月3日(月)831教室で、平成28年度上期の課外教育活動成績優秀者の表彰式を行いました。課外教育活動において優秀な成績を収めた17人および2団体に対し、永星浩一学生部長から表彰状が贈られました。

個人では、モーターボート・水上スキー部の東久保百愛選手(商学部3年次生)が「第61回全日本学生水上スキー選手権大会」で個人総合優勝。そして団体では、新体操競技部が「第68回全日本学生新体操選手権大会」女子団体総合で見事2位に輝きました。来年度のさらなる活躍が期待されます。



団体の部(全国大会3位以上)		大会名および種目	結果
新体操競技部	モーターボート・水上スキー部	第68回全日本学生新体操選手権大会 女子団体総合 第61回全日本学生水上スキー選手権大会 女子団体総合	2位 3位

個人の部(全国大会3位以上)		大会名および種目	結果
陸上競技部	北尾 友靖(スポーツ科学部 3年次生)	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子砲丸投	3位
	太田 垂矢(スポーツ科学部 3年次生)	第32回静岡国際陸上競技大会 女子砲丸投	優勝
		第100回日本陸上競技選手権大会 女子砲丸投	優勝
		2016日本学生陸上競技個人選手権大会 女子砲丸投	2位
		第56回実業団・学生対抗陸上競技大会 女子砲丸投	優勝
	吉川 奈緒(スポーツ科学部 3年次生)	第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子砲丸投	優勝
		2016日本学生陸上競技個人選手権大会 女子ハンマー投	3位
		第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子ハンマー投	2位
		2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子三段跳	優勝
	藤内 誠也(スポーツ科学部 3年次生)	第32回静岡国際陸上競技大会 男子走高跳	優勝
2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子走高跳		2位	
第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子走高跳		優勝	
2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子走高跳		3位	
松本 修一(スポーツ科学部 2年次生)	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子走高跳	2位	
	第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子走高跳	優勝	
	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子走高跳	2位	
	第85回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子走高跳	3位	
西川 チカコ(スポーツ科学部 2年次生)	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 女子砲丸投	3位	
	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 女子走高跳	2位	
	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子走高跳	3位	
	2016日本学生陸上競技個人選手権大会 男子400m	優勝	
柔道部	立川 莉奈(スポーツ科学部 2年次生)	平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 女子52kg級	優勝
	原田 誠文(スポーツ科学部 2年次生)	平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 男子66kg級	優勝
モーターボート・水上スキー部	大谷 祐輔(商学部 4年次生)	全日本学生水上スキー連盟2016チャンピオンシリーズ(第2戦) 男子個人スラローム部門	3位
	東久保 百愛(商学部 3年次生)	全日本学生水上スキー連盟2016チャンピオンシリーズ(第2戦) 女子個人ジャンプ部門	3位
レスリング部	田代 拓海(スポーツ科学部 2年次生)	第61回全日本学生水上スキー選手権大会 女子個人総合	優勝
	田代 拓海(スポーツ科学部 2年次生)	2016年JOC全日本ジュニアレスリング選手権大会 男子フリースタイル55kg級	優勝
なぎなた部	大岡 光(スポーツ科学部 4年次生)	第55回全日本学生なぎなた選手権大会 個人の部	2位
書道部	堀尾 愛佳(法学部 4年次生)	第21回全日本高校・大学書道展(漢字部門) 51作品/11,051作品中	大賞
	宮田 凌雅(経済学部 4年次生)	第33回読売書法展(漢字部門) 1,460作品/23,237作品	秀逸

個人の部(国際試合等対象選手一覧)		大会名および種目	結果
陸上競技部	松清 和希(スポーツ科学部 1年次生)	世界ジュニア陸上競技選手権大会 男子400m / 男子4×400m	7位 / 4位
柔道部	福岡 賢晃(スポーツ科学部 1年次生)	ポーランドジュニア国際柔道大会 男子73kg級	2位
レスリング部	田代 拓海(スポーツ科学部 2年次生)	世界ジュニアレスリング選手権大会 男子フリースタイル55kg級	5位

福大生の法律に関するさまざまなトラブルに無料で相談に応じます。

例えば、こんなお悩みはありませんか?

- 敷金の返還がない...
- アルバイト先で不当解雇された...
- 交通事故に遭ってしまった... etc.

Q 引っ越しする際、不動産屋さん敷金の返還をお願いしたら断られてしまいました。

A 敷金の返還はケースバイケース。写真や書類など証拠を残して。

部屋を退去する際は片付けが終わった状態の写真を撮っておくといいたいでしょう。鍵の交換や壁紙の貼り替え、常識的な範囲のハウスクリーニングは賃した方の負担なので、敷金をそれらに取られるのは正当ではありません。請求書などを持って相談に来てください。

Fukuoka Legal Clinic 福岡リーガルクリニック法律事務所 弁護士法人福岡リーガルクリニックセンター(福岡県弁護士会所属)

TEL: 092-874-9292 (受付時間: 平日9~18時) FAX: 092-863-9555 <http://www.fukuoka-legal.jp/>

福岡大学60周年記念館(ヘリオスプラザ)5階 ● 休業日: 原則として土・日・祝日 ※事前の予約であれば、土、日や時間外も柔軟に対応します。

Archive

— あの日から続く道 <message.08> —

福岡大学 附属大濠高等学校 硬式野球部を応援しよう！

甲子園ベスト8の実績を持つ大濠高校硬式野球部。
強豪校として全国に名を馳せ、多くのファンに感動を与えた。
その感動が2017年、現実によみがえる。
みんなで応援しよう！ 勝利を願って。

2017チーム大濠高



2016年第139回九州地区高校野球大会 優勝



1989 第71回全国高等学校野球選手権大会(甲子園) ベスト8